

【添付資料】出演者プロフィール LE VELVETS



身長 180cm 以上、音楽大学声楽科を卒業という条件の元、オーディションにより選抜されたヴォーカル・グループ。宮原浩暢(バリトン)、日野真一郎(テノール)、佐藤隆紀(テノール)で構成。グループ名は、柔らかく上質で滑らかな生地「Velvet」(ヴェルヴェット)をイメージし、音楽評論家の湯川れい子先生に命名された。

クラシックを中心にロックやポップス、日本の民謡に至るまで、様々なジャンルの歌を 3 人のハーモニーで自在に表現し、独自の世界感を創り上げている。これまでオーチャードホールや NHK ホール(東京/大阪)、フェスティバルホール(大阪)など全国公演を行う一方、メンバー各々のミュージカル出演など活動は、多岐に渡る。

2025 年秋、全国ツアー LE VELVETS CONCERT TOUR 2025 「The Rising Voices」、12 月には千葉、大阪、京都にてディナーショーの開催が決定。

LE VELVETS 公式サイト：<https://www.le-velvets.com>

May J.



日本、イラン、トルコ、ロシア、スペイン、イギリスのバックグラウンドを持ち、幼児期よりダンス、ピアノ、オペラを学び、作詞、作曲、ピアノの弾き語りをもこなす。圧倒的な歌唱力とパワフルかつ澄んだ繊細な歌声、そして前向きでポジティブなメッセージが共感呼び、幅広い世代から支持を受けている。2014 年公開のディズニー映画「アナと雪の女王」の日本版主題歌（エンドソング）を担当し、同年の第 65 回紅白歌合戦に初出場。カバーアルバム・シリーズは、累計 100 万枚を超える大ヒットを記録。2021 ミュージカル「ボディガード」に初主演。テレビ、ラジオ、舞台、YouTube など、多彩なフィールドで活動を広げている。

May J.公式サイト：<https://mayj.jp/>

新妻聖子



2003 年、ミュージカル「レ・ミゼラブル」エポニーヌ役で初舞台。続くミュージカル「ミス・サイゴン」ではヒロインのキム役を射止め、豊かな声量と表現力で来日した海外スタッフから絶賛された。第 31 回菊田一夫演劇賞、第 61 回文化庁芸術祭演劇部門新人賞、第 7 回岩谷時子賞奨励賞を受賞。2010 年・2011 年にはミュージカル誌最優秀女優賞を獲得。近年では TBS「音楽の日」、NHK「うたコン」などの歌番組でも存在感を発揮し、ミュージカル界を代表する歌姫として幅広い活躍を続けている。主なミュージカル主演作に「GOLD」、「ボディガード」、「ジョン&ジェン」などがある。

新妻聖子公式サイト：<https://www.seikoniizuma.com>

柴田真郁（指揮）



1978 年東京生まれ。国立音楽大学声楽科を卒業。ウィーン国立音楽大学マスターコースでディプロム取得。リセウ大歌劇場（バルセロナ）のアシスタント指揮者を務め、欧州各地の劇場で研鑽を積む。帰国後は主にオペラ指揮者として活動。藤原歌劇団、日生劇場、新国立劇場オペラ研修所などで指揮。2010 年池辺普一郎『死神』で日本オペラ協会にデビュー。同年、五島記念文化財団オペラ新人賞（指揮）受賞。

近年では管弦楽にも力を入れ、日本各地のオーケストラと共演し好評を博す。

2023 年に指揮した、ひろしまオペラルネッサンス公演『フィガロの結婚』が第 22 回（2024 年度）佐川吉男音楽賞・奨励賞を受賞。

現在、大阪交響楽団ミュージックパートナー

柴田真郁公式サイト：<https://www.hirasaoffice06.com/artists/view/57>

大阪交響楽団



©飯島隆

1980 年「大阪シンフォニカー」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。

2001 年 1 月に、楽団名を「大阪シンフォニカー交響楽団」に、2010 年 4 月「大阪交響楽団」に改称した。

2022 年 4 月、新指揮者体制として、山下一史（常任指揮者）、柴田真郁（ミュージックパートナー）、高橋直史（首席客演指揮者）の 3 名が就任、さらなる楽団の飛躍が期待されている。

大阪交響楽団公式サイト：<https://sym.jp>

東京フィルハーモニー交響楽団



1911 年創立、日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督ジョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。自主公演の他、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、NHK 他における放送演奏で高水準の演奏活動を展開。海外公演も積極的に行い、高い注目を集める。1989 年より Bunkamura オーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を、刈谷市と連携協定を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

東京フィルハーモニー交響楽団公式サイト：<https://www.tpo.or.jp/>

山下康介（編曲監修）



作曲家・編曲家。東京音楽大学作曲専攻「映画・放送音楽コース」（現ミュージック・メディアコース）卒業。映画「花筐／HANAGATAMI」「この空の花」などで知られる大林宣彦監督作品に多く携わったほか、NHK 連続テレビ小説「瞳」やドラマ「花より男子」、アニメ「ちはやふる」「ドラゴンボール DAIMA」、「仮面ライダーセイバー」、スーパー戦隊シリーズ「暴太郎戦隊ドンブラザーズ」、歴史シミュレーションゲーム「信長の野望」シリーズなどの音楽がある。また編曲家として「題名のない音楽会」などの放送用編曲をはじめ、billboard classics などオーケストラのためのコンサート用編曲を多数手がけている。現在、洗足学園音楽大学教授、東京音楽大学特任教授。一般社団法人日本作編曲家協会（JCAA）理事。静岡いわた PR 大使。

山下康介公式サイト：<https://www.kosuke-yamashita.com/>

©Tatsuya Ito